

# 第4次 高野町長期総合計画

KOYA TOWN 4th MASTER PLAN

概要版



平成31年  
高野町

## 第4次高野町長期総合計画策定の趣旨

現在本町は、40%を超える高い高齢化率(平成30(2018)年1月1日現在、43.3%)のほか、外国人観光客の増加への対応等、さまざまな課題を抱えています。そうした課題や社会の情勢の変化に対応するため、第3次高野町長期総合計画において取り組んできた各事業の見直しを行いました。本町を取り巻く課題に対して住民と行政がともに協力し、解決に向けて努力するための指針とするとともに、よりよい暮らしを推進するための計画とします。

## 計画の特徴

本計画は、本町における行政運営を図るための最上位計画であり、さまざまな分野の政策の基本指針となるものです。本町が目指す将来の姿を掲げ、その実現に向けた取り組みの方向性を明確にし、中長期的な地域経営の視点を取り入れ、まちの魅力を高める計画とします。

## 計画の方針

1

### 時代の潮流に応じた、柔軟で戦略的な計画

施策の優先度を重視しながら、時代の変化によって生じた新たな課題に、的確かつ柔軟に対応することができる計画とします。

2

### 地域性・独自性のある計画

本町がこれまでに育んできた歴史・文化を活かし、これからの展望を盛り込んだ、他にはない独自性のある計画とします。

3

### 人口ビジョン・総合戦略との整合性を図った計画

人口減少社会や地域経済の縮小に対応するために策定した「まち・ひと・しごと創生高野町総合戦略」及び「高野町人口ビジョン」との整合性を図った計画とします。

## 計画の構成

### 基本構想(10か年)

将来を展望して、目指すまちづくりの目標や将来像を掲げ、町政の指針とします。

### 基本計画(10か年)

基本構想で掲げた指針を実施するため、政策・施策の体系を明らかにし、施策分野を越えて横断的に展開する「重点プロジェクト」や「分野別の政策・施策」を定めます。

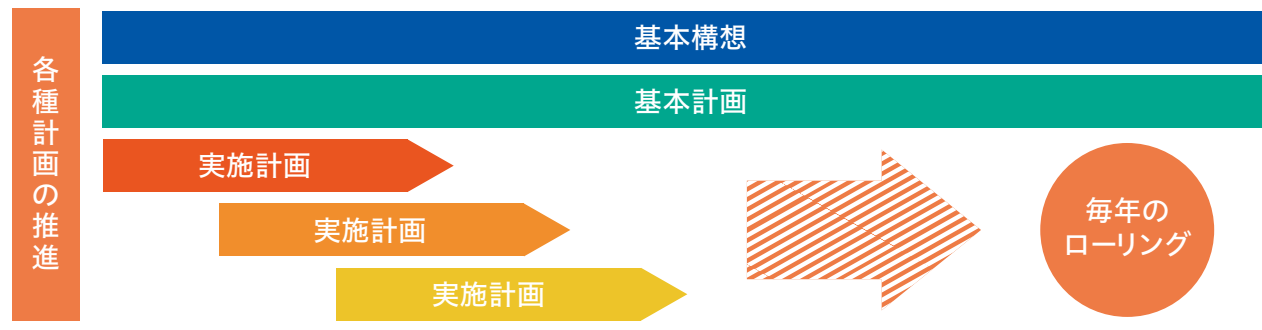
### 実施計画(3か年・毎年度見直し)

基本計画に定められた施策を展開するための個別の事務事業を定めます。

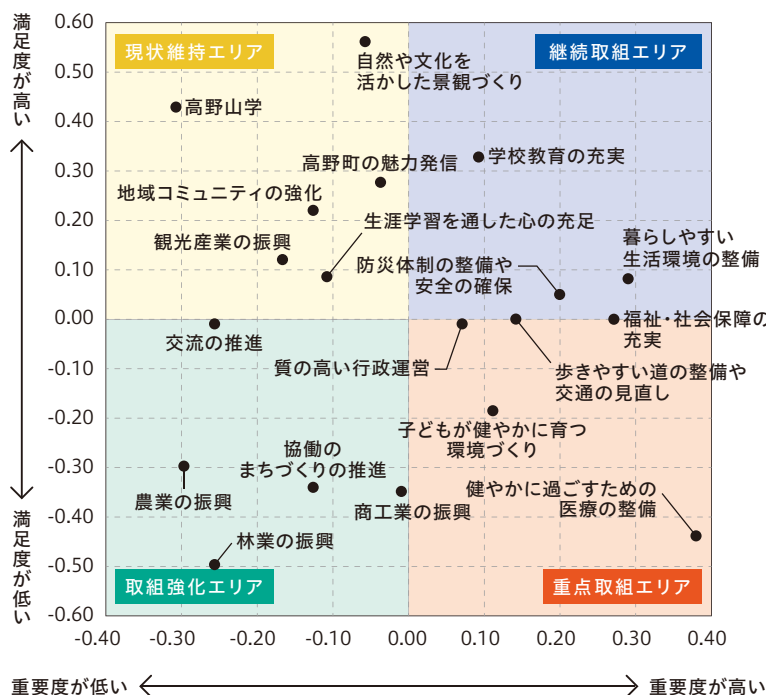
## 計画の期間

年度

平成	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
西暦	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028



## アンケート調査からみるまちづくりで満足していること、重要だと思うこと



### ■区分について

現状維持エリア	満足度が高く、重要度が低い。 ⇒住民の満足度高く、今後のさらなる充足には検討すべき項目
継続取組エリア	満足度、重要度がともに高い。 ⇒施策の継続実施が必要な項目
取組強化エリア	満足度、重要度がともに低い。 ⇒町民の認知度や関心の不足等による満足度及び重要度が低い項目
重点取組エリア	満足度が低く、重要度が高い。 ⇒今後重要施策として検討が必要な項目

### ■カテゴリ別一覧

<b>現状維持エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域コミュニティの強化</li> <li>●生涯学習を通じた心の充足</li> <li>●高野山学</li> <li>●自然や文化を活かした景観づくり</li> <li>●観光産業の振興</li> <li>●高野町の魅力発信</li> </ul>	<b>継続取組エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●暮らしやすい生活環境の整備</li> <li>●防災体制の整備や安全の確保</li> <li>●学校教育の充実</li> <li>●歩きやすい道の整備や交通の見直し</li> </ul>
<b>取組強化エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●協働のまちづくりの推進</li> <li>●農業の振興</li> <li>●林業の振興</li> <li>●商工業の振興</li> <li>●交流の推進</li> </ul>	<b>重点取組エリア</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもが健やかに育つ環境づくり</li> <li>●福祉・社会保障の充実</li> <li>●健やかに過ごすための医療の整備</li> <li>●質の高い行政運営</li> </ul>

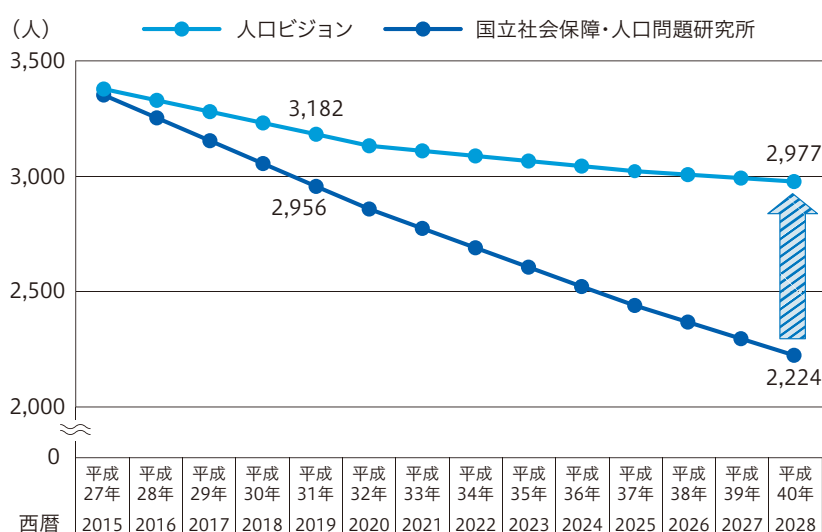
## 高野町が目指す将来の姿

本町に住まう住民一人ひとりがまちに誇りを持って生活し、本町出身者や本町を訪れた人、参拝者等が心のふるさととして本町を想い、集うことのできる“ふるさと”であり続けられる高野町を目指し、将来像を次のように掲げます。

## 歴史と文化を守り 交流が育む明るい未来 心のふるさと 高野町

### 将来人口フレーム

平成27(2015)年度に策定した人口ビジョンでは、(i)合計特殊出生率の上昇(1.46から1.80)、(ii)雇用の場の確保による若年層の流出抑制、(iii)子育て世代の転出抑制と転入促進を図ることで、平成52(2040)年に2,800人の人口規模を維持することを目標に掲げています。本計画においても、平成40(2028)年は概ね3,000人程度の人口規模を目指すこととします。



### 土地利用

#### ● にぎわいゾーン

高野山地区を中心に、観光産業や商業等が盛んで住民や観光客が集い交流するにぎわうエリアとして、自然や景観に配慮した生活しやすい良好な環境の整備を図ります。

#### ● いなか暮らし・移住定住促進ゾーン

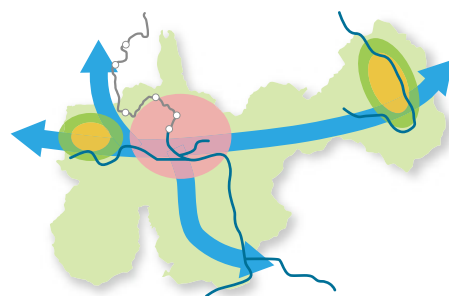
花坂地区、細川地区、富貴地区を中心として、のびのびと「いなか暮らし」を送ることができる生活環境の整備を行います。また、空き家や空き地の活用、耕作放棄地等の活用等を進め、移住定住の促進を図ります。

#### ● 農業ゾーン

花坂地区、筒香地区、富貴地区のそれぞれの特性を活かし、高冷地・中山間地の立地条件を活かした適地適作及び地産地消を推進するとともに、農業観光の振興を目指します。

#### ● 豊かな自然ゾーン

山林や緑地等の豊かな自然環境を積極的に保全するとともに、自然の循環が生まれるよう農林業の活性や適度な木材の活用を推進し、自然を活かした憩いのレクリエーションの場としての利用を図ります。



- にぎわいゾーン
- いなか暮らし・移住定住促進ゾーン
- 農業ゾーン
- 豊かな自然ゾーン
- ←→ 地域をつなぐ道路
- 鉄道(南海電鉄)
- バス

## 重点プロジェクト

### 1

#### 住みたいまち

すべての住民の生命を守り、生活の安全・安心を確保し、皆が健やかに生活し、人と人がつながり、互いに支え合うことができる社会の実現を目指します。

まちの活力を直接支える住民が、心豊かに住み続けることができるよう、地域のつながりやコミュニティの活性化を促し、住みやすい生活環境の整備、産業の安定と持続的発展、就労の場の確保を推進します。

#### 重点施策

- (1)安全で安心なまちづくり
- (2)過疎対策支援の充実
- (3)地域資源を活かした産業振興の充実

### 3

#### 子育て・人育てのまち

住民をはじめ本町に訪れる人も、学び研鑽すること、そして学びで得られた知識や経験を社会で活かすことを通して、ともに助け合い、支え合うことができる社会を目指します。

さまざまな社会教育の支援、社会参画の機会の創出によって、健康な身体と心を育み、互いに成長できるまちづくりを推進します。

#### 重点施策

- (1)積極的な子育て環境の充実
- (2)社会教育の充実と機会拡充
- (3)協働のまちづくりの推進と担い手育成

### 2

#### 訪れたいまち

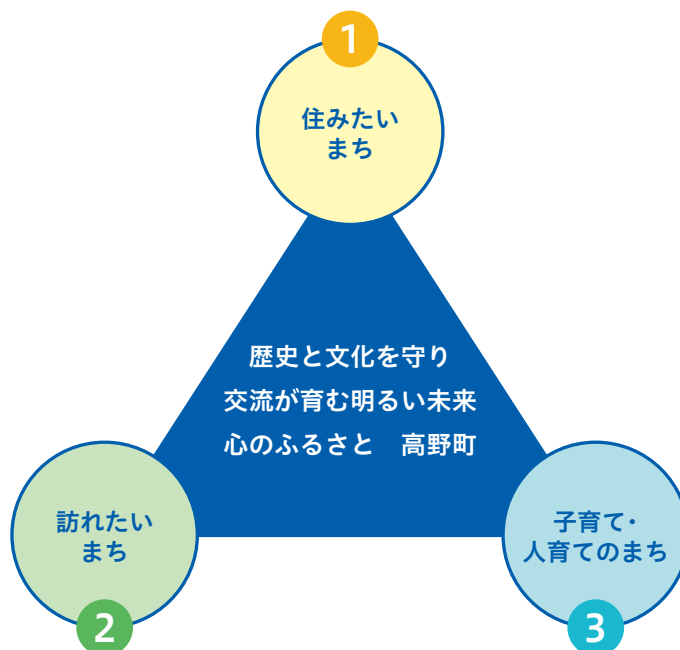
人口減少が進む一方で、本町には世界中から多くの観光客が訪れています。観光客に対して、地域の歴史・文化資源や、自然資源を活用した着地型観光の視点でさまざまな体験型観光を展開し、満足度の高い体験を提供しています。今後はそうした体験やツアーを高野山周辺地域へも広げ、それぞれの地域の伝統的な行事への参加や多様な資源を活用した交流を推進します。

また、本町での生活を希望する人に対して、空き家や空き地、耕作放棄地の活用支援等を図り、移住定住支援を充実します。

#### 重点施策

- (1)観光産業の活性化
- (2)交流人口の拡大
- (3)多様な関わり方の確立

#### ■将来像と重点プロジェクトの概念図



## 基本目標

### 基本目標1

## 一人ひとりが輝き支え合う活力のあるまちづくり

高齢化が進行するなかで、すべての住民が快適に暮らすことができるよう、時代に即した交通インフラの整備や良好な住環境の維持・整備が求められます。また、健やかに安心した生活を送ることができるよう、住民が主体的に健康づくり活動を実施できるよう支援するとともに、医療環境の充実に努めます。

行政サービスのみならず、地域の住民同士が支え合う「互助・共助」の関係をより一層深めるとともに、多世代交流、多職種交流・連携を推進することで、多様性を尊重する地域づくりを支援します。

### 施策の展開

●人々の交流と支え合うコミュニティづくり

●障害者福祉の充実

●多様性の尊重

●過疎対策支援

●高齢者福祉の充実

●社会保障制度の適正運営

●健やかな生活を送るための健康の促進

### 基本目標2

## 人を育むまちづくり

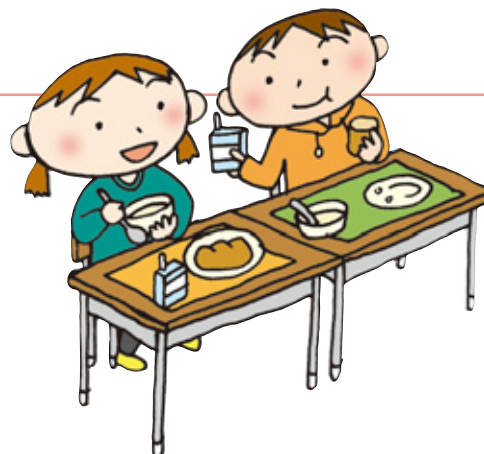
子どもは、これからの社会を担う大切な「未来の宝」です。本町においては著しい少子化により学校が廃校となるなど、子育てには厳しい環境がみられます。人口減少の抑制として合計特殊出生率の向上や若年層の流出抑制を図ることが重要となり、そのためにも子育て・定住の場として、本町の魅力を高めることが必要となります。

### 施策の展開

●子育て環境の整備と充実

●学校教育の充実

●社会教育の充実





### 基本目標3

## 産業の活力創出に取り組むまちづくり

人口減少を抑制するためには、本町で生活を続けたいと思えるような環境の整備が必要となります。地域経済の活性化のための雇用環境の充実や、観光振興による交流人口の増加、人が集う活気あるまちづくりを推進することが求められます。

### 施策の展開

●農業の振興

●商工業の振興

●就労の場と機会の創出・確保

●林業の振興

●また来てみたい魅力づくり



### 基本目標4

## 安全で安心な生活を実現するまちづくり

近年大規模災害が全国各地で多発しており、本町及び周辺地域でいつ発生してもおかしくありません。高齢化に伴って、避難行動時に支援を必要とする人が年々増加しています。また、高齢者等を狙った犯罪やインターネット等を利用した悪質な犯罪が全国的に増えており、防犯に対する関心が高まっています。住民の生命や財産を守るため、消防・救急救助体制の充実と消防団の機能強化を図るとともに、防災・防犯体制の充実を図り、安全で安心できるまちづくりに努めます。

### 施策の展開

●住みよい住環境の整備

●道路・交通の整備

●防災・消防力の強化

●情報通信技術の利活用促進

●上水道・下水道等の整備

●循環型社会の形成

●安全で安心できるまちづくり

●医療の充実

## 基本目標5

### 豊かな自然、歴史、文化を守り活かすまちづくり

本町の大半は山林によって構成されており、豊かな自然が生活に溶け込んでいます。かけがえのない自然を守り次世代に伝えるために、環境に配慮したライフスタイルの維持と、自然環境の保全を推進します。

また、本町には世界遺産の構成資産をはじめとした、さまざまな文化財があります。これらが本町の特徴であり、魅力のひとつとなっています。住民の一人ひとりがこうした資産を大切にし、誇りを持つとともに、歴史・文化を守り、活用していくことが大切です。

「人の交流」「地域間交流」「国際交流」等、さまざまな交流を促進することで郷土愛を醸成し、世界に誇れる高野として、次世代へと継承します。

#### 施策の展開

●文化財等の地域資源の継承

●世界遺産の保全と活用

●景観の維持・形成

●交流の促進

## 基本目標6

### 効率的な行政運営と財政の確保

国全体が人口減少や高齢化に向かって進むなか、今後ますます財政状況は厳しくなることが予想されており、その一方で多様化かつ高度化する住民ニーズに的確に対応することが求められます。社会情勢に注視しながら、引き続き効率的な行政運営と安定した財政運営に取り組むことが大切です。

限られた予算、人員のもと、存続をかけた地域、持続的発展を図る地域、それぞれの地域課題に対応できるよう、職員一人ひとりの能力向上と意識改革、並びに民間活力の活用、公共施設の適正化等を計画的に推進し、厳しい行政運営を支える財政の安定化を推進します。

#### 施策の展開

●効率的な行政運営

●安定した財政運営

## 第4次高野町長期総合計画

発行：平成31(2019)年3月

〒648-0281 和歌山県伊都郡高野町大字高野山636番地  
高野町

TEL 0736-56-3000 FAX 0736-56-4745 ホームページ <http://www.town.koya.wakayama.jp>